

# 新潟焼山の火山活動解説資料（平成 27 年 1 月）

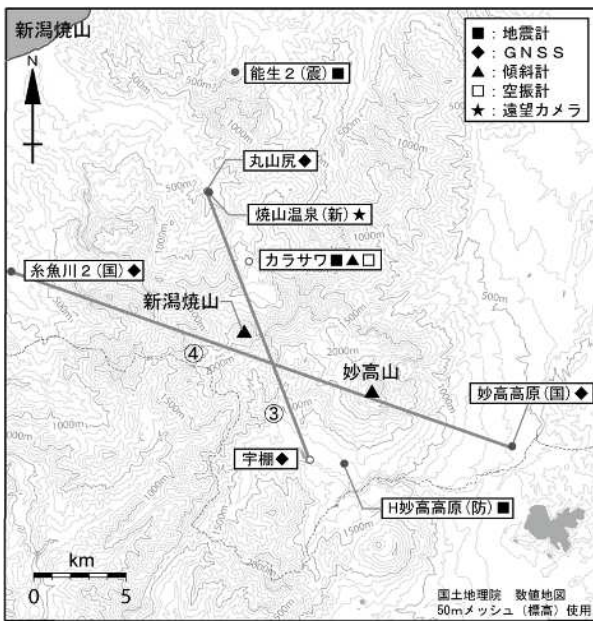
気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
平成 23 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

## 活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 2、図 3 - ）  
新潟県土木部砂防課が焼山温泉（山頂の北北西約 8 km）に設置している監視カメラによる観測では、視界不良のため不明の期間がありますが、山頂部東側斜面の噴気は少なく、噴気の高さは概ね 30m 以下で経過しています。
- ・地震や微動の発生状況（図 3 - 、図 4）  
今期間、火山性地震は少なく、火山性微動は観測されていません。
- ・地殻変動の状況（図 1、図 3 - ）  
GNSS<sup>注</sup>連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

注）GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
（国）：国土地理院、（防）：防災科学技術研究所、（震）：東京大学地震研究所、（新）：新潟県



図 2 新潟焼山 山頂部の状況  
（1月24日 焼山温泉監視カメラによる）

図 1 新潟焼山 観測点配置図  
（GNSS 基線 は図 3 の に対応しています。）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 27 年 2 月分）は平成 27 年 3 月 9 日に発表する予定です。  
この資料は、国土地理院、東京大学、京都大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び新潟県のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）

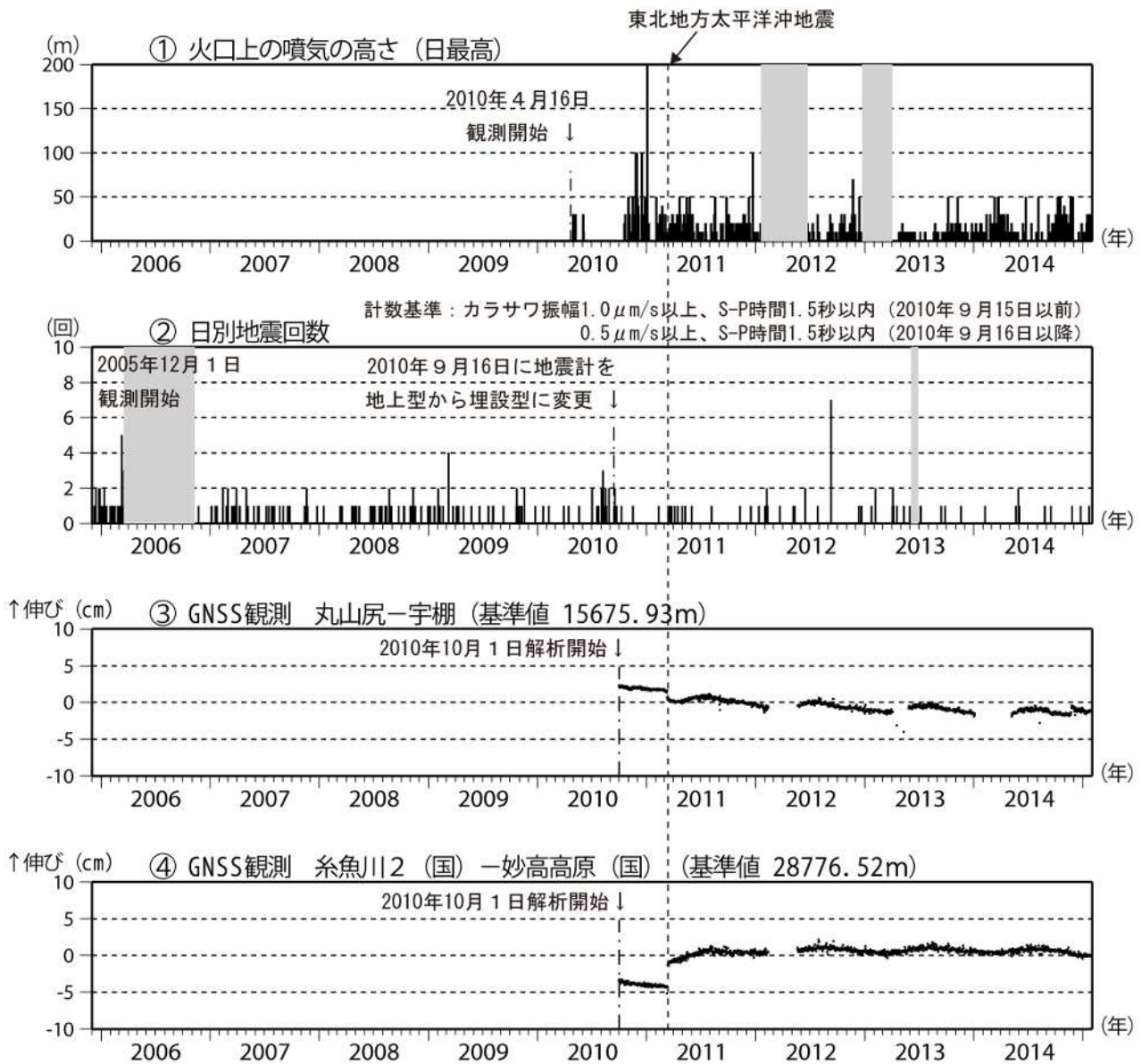


図3 新潟焼山 火山活動経過図(2005年12月1日~2015年1月31日)

- ・ 定時観測(09時・15時)による日別最高の噴気の高さ
- ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ・ 日別地震回数
- ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ・ GNSS連続観測結果 (国): 国土地理院
- ・ の基線には、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、データに飛びがみられます。
- ・ は、図1のGNSS基線 に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を示します。

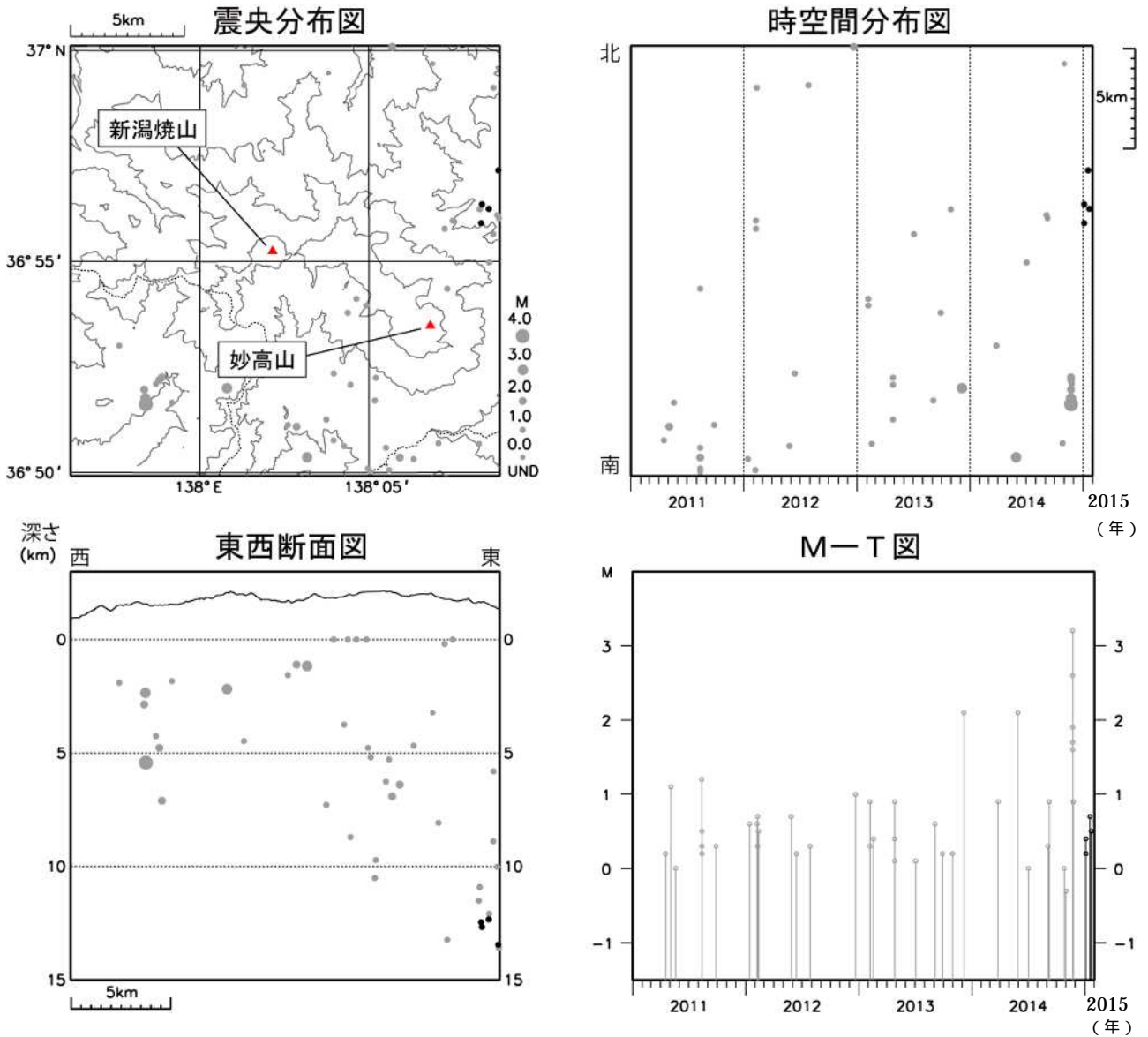


図4 新潟焼山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2011年1月1日~2015年1月31日)  
 : 2011年1月1日~2014年12月31日 : 2015年1月1日~1月31日  
 今期間、新潟焼山周辺で震源が決定された火山活動に関連すると思われる地震はありませんでした。  
 M(マグニチュード)は地震の規模を表します。  
 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。